

平成 31 年度

(第 60 回)

事業計画書及び収支予算書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 平成 32 年 3 月 31 日

公益社団法人 宮崎県農業振興公社

目 次

【事業計画】

| | |
|------------|----|
| 第1 事業の方針 | 1 |
| 第2 役職員配置計画 | 2 |
| 第3 事業計画の内容 | 3 |
| 1 農地部門 | 3 |
| 2 担い手支援部門 | 7 |
| 3 畜産施設部門 | 11 |
| 4 新農業支援部門 | 12 |

【収支予算】

| | |
|--------------|----|
| 第4 正味財産増減予算 | 15 |
| 正味財産増減予算書 | 16 |
| 正味財産増減予算書内訳表 | 18 |

第1 事業の方針

当社は、昭和35年に農地の開発やほ場の整備を進め労働生産力の向上を図ることを目的として設立され、以来、農業経営の規模拡大・農地の集団化、農業担い手の確保・育成、環境に配慮した高能率な畜産経営に資する畜産公共事業を行い、本県農業の振興に寄与してまいりました。

近年では、農林漁業の6次産業化や農商工連携の支援、耕作放棄地の解消など、その役割は多岐にわたり、重要性はますます高まっております。

しかし、本県の農業は、農業従事者の減少・高齢化とこれに伴う遊休農地の増加や農地の減少などの構造的な課題に加えて、人口減少社会到来による国内市場の縮小や燃油・飼料・肥料等の価格高騰や農畜産物の価格低迷、さらには平成30年度に発効されたTPP11や日欧EPA、現在交渉が進められている日米物品貿易協定(TAG)に象徴される国際競争の激化など農業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況であります。

公社においては、新たな中期経営計画を策定し、公社職員全員が理解すべき今後の活動の方向と共通の目標を示すとともに、本県農業の振興、とりわけ「第七次宮崎県農業・農村振興長期計画(後期計画)」に掲げられた目標数値の達成を目指し、公社の行う次の4つの事業について、県、市町村、関係機関・団体並びに農業関係者と連携を密にして、事業の円滑な推進に取り組んでまいります。

- 1 担い手への農地の集積・集約化
- 2 担い手の確保・育成
- 3 畜産経営強化のための生産基盤整備の推進
- 4 6次産業化の推進

第2 役職員配置計画

1 役員

(表-1)

| 区 分 | 人 員 | | 摘 要 |
|-----------|--------|--------|-----|
| | 31年度計画 | 30年度計画 | |
| 常 勤 理 事 | 2 | 2 | |
| 非 常 勤 理 事 | 12 | 12 | |
| 監 事 | 2 | 2 | |
| 計 | 16 | 16 | |

2 職 員

(表-2)

| 区 分 | 31年度計画 | | | 30年度計画 | | |
|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|
| | 事 務 | 技 術 | 計 | 事 務 | 技 術 | 計 |
| 事 務 局 長 | 1 (1) | | 1 (1) | 1 (1) | | 1 (1) |
| 技 監 | | 1 (1) | 1 (1) | | 1 (1) | 1 (1) |
| 総 務 課 | 4 (1) | | 4 (1) | 4 (1) | | 4 (1) |
| 農地第一課 | 2 | 4 (2) | 6 (2) | 2 | 4 (2) | 6 (2) |
| 農地第二課 | 1 | 2 | 3 | | 3 (1) | 3 (1) |
| 担い手支援課 | 1 (1) | 3 (1) | 4 (2) | 1 (1) | 3 (1) | 4 (2) |
| 畜産施設課 | 1 | 2 (1) | 3 (1) | 1 | 1 | 2 |
| 新農業支援課 | | 3 (2) | 3 (2) | | 3 (2) | 3 (2) |
| 計 | 10 (3) | 15 (7) | 25 (10) | 9 (3) | 15 (7) | 24 (10) |

※()は内数で、県・農協中央会からの派遣職員

第3 事業計画の内容

1 農地部門

農地中間管理事業や農地売買事業等による農地の貸借・売買を、県・市町村や農業団体と連携しながら積極的に行うことにより、担い手への農地集積を促進し、効率的かつ収益性の高い経営体の育成に努めます。

また、平成22年度に口蹄疫のまん延防止の必要性から緊急避難的に公社保有となった口蹄疫埋却地については、借入資金の延滞金が生じることのないよう関係機関と連携しながら平成31年度内にすべての売渡しを完了させます。

(1) 農地中間管理事業(貸借)

農地中間管理事業(貸借)は、農地中間管理機構が農地の出し手となる農家等から借り受け、担い手等の受け手にその農地をまとまりのある形で貸し付けることで、農地の集積・集約を加速させ、農業経営の効率化・低コスト化を目指すもので、関係機関・団体と連携を取り重点的に推進します。

(表-3) 農地中間管理事業 (貸借)

| 区 分 | | 31年度計画 | | 30年度計画 | | |
|-----|---------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------|
| | | 筆 数 | 面 積 (ha) | 筆 数 | 面 積 (ha) | |
| 借 入 | 前 年 度 末 保 有 量 | 49,138 | 5,942 | 40,056 | 4,821 | |
| | 本 年 度 | 借 入 | 24,000 | 3,000 | 24,000 | 3,000 |
| | | 解 約 (解 除) | — | — | — | — |
| | 本 年 度 末 保 有 量 | 73,138 | 8,942 | 64,056 | 7,821 | |
| 貸 付 | 継 続 貸 付 | 49,122 | 5,940 | 40,026 | 4,817 | |
| | 新 規 貸 付 | 24,016 | 3,002 | 24,030 | 3,004 | |
| | 合 計 | 73,138 | 8,942 | 64,056 | 7,821 | |

(2) 特例事業(農地保有合理化事業(～H25))

ア 農地等売買事業

農用地等の買入れ及び売渡しについて、担い手や新規就農者等の農地取得に係る初期負担の軽減を図るため、資金計画に沿って一時貸付型・分割払い型・即売り型により農地売買の支援を行います。

(表-4) 特例事業

| 区 分 | | 31年度計画 | | | 30年度計画 | | | |
|-------|---------|--------|-----|---------|--------|-----|---------|-------|
| | | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) | |
| 一時貸付型 | 前年度末保有量 | | 299 | | 120.3 | 230 | | 94.0 |
| | 本年度 | 買入 | 60 | | 30.0 | 60 | | 30.0 |
| | | 売渡 | 63 | 48 | 22.2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 本年度末保有量 | | 296 | | 128.1 | 290 | | 124.0 |
| 分割払型 | 前年度末保有量 | | | | | 0 | | 0.0 |
| | 本年度 | 買入 | 5 | | 2.5 | 5 | | 2.5 |
| | | 売渡 | 5 | 5 | 2.5 | 5 | 5 | 2.5 |
| | 本年度末保有量 | | 0 | | 0.0 | 0 | | 0.0 |
| 即売型 | 前年度末保有量 | | 3 | | 0.8 | 2 | | 0.8 |
| | 本年度 | 買入 | 35 | | 17.5 | 35 | | 17.5 |
| | | 売渡 | 38 | 38 | 18.3 | 37 | 37 | 18.3 |
| | 本年度末保有量 | | 0 | | 0.0 | 0 | | 0.0 |
| 合 計 | 前年度末保有量 | | 302 | 0 | 121.1 | 232 | | 94.8 |
| | 本年度 | 買入 | 100 | | 50.0 | 100 | | 50.0 |
| | | 売渡 | 106 | 91 | 43.0 | 42 | 42 | 20.8 |
| | 本年度末保有量 | | 296 | | 128.1 | 290 | | 124.0 |

※ 旧件数は買入時の件数、新件数は売渡時の件数

(表-5) 農地保有合理化事業(埋却地)

| 区 分 | | 31年度計画 | | | 30年度計画 | | | |
|-------|---------|--------|-----|---------|--------|-----|---------|------|
| | | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) | |
| 一時貸付型 | 前年度末保有量 | | 23 | | 8.2 | 30 | | 18.5 |
| | 本年度 | 売渡 | 23 | 22 | 8.2 | 30 | 28 | 18.5 |
| | 本年度末保有量 | | 0 | | 0.0 | 0 | | 0.0 |

※ 旧件数は買入時の件数、新件数は売渡時の件数

(参考) 公社保有口蹄疫埋却地の売渡計画

口蹄疫埋却地については、平成25年度に家畜伝染病予防法に基づく発掘禁止期間3年が経過したことにより、営農の再開準備が整った農地から順次売渡しを行っており、平成31年度は残るすべての農地について売渡しを計画しています。

(表-6)

| 市町名 | 全 体 | | 30年度まで売渡済 | | 31年度以降残 | | 31年度 売渡計画 | |
|-----|-----|--------|-----------|--------|---------|--------|-----------|--------|
| | 箇所数 | 面積(ha) | 箇所数 | 面積(ha) | 箇所数 | 面積(ha) | 箇所数 | 面積(ha) |
| 宮崎市 | 1 | 2.3 | 1 | 2.3 | | | | |
| 都城市 | 1 | 0.4 | 1 | 0.4 | | | | |
| 日向市 | 1 | 0.7 | 1 | 0.7 | | | | |
| 西都市 | 9 | 9.4 | 9 | 9.4 | | | | |
| 高鍋町 | 6 | 11.7 | 5 | 11.0 | 1 | 0.7 | 1 | 0.7 |
| 新富町 | 4 | 1.6 | 4 | 1.6 | | | | |
| 川南町 | 18 | 7.3 | 12 | 5.0 | 6 | 2.3 | 6 | 2.3 |
| 都農町 | 12 | 5.5 | 1 | 0.3 | 11 | 5.2 | 11 | 5.2 |
| 計 | 52 | 38.9 | 34 | 30.7 | 18 | 8.2 | 18 | 8.2 |

イ 農用地貸借事業

農地の貸借については、平成26年度から農地中間管理事業に移行しましたので新規借入はありませんが、移行前に貸借契約している農地については安定的に継続貸付します。

(表-7)

| 区 分 | | | 31年度計画 | | | 30年度計画 | | |
|---------|--------|----|--------|-----|---------|--------|-----|---------|
| | | | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) | 旧件数 | 新件数 | 面積 (ha) |
| 前年度末保有量 | | | 50 | 34 | 27.0 | 97 | 72 | 38.2 |
| 本年度 | 貸付 | 継続 | 38 | 26 | 18.7 | 47 | 32 | 20.8 |
| | 解約(返還) | | 12 | 8 | 8.3 | 50 | 40 | 17.3 |
| 本年度末保有量 | | | 38 | 26 | 18.7 | 47 | 32 | 20.9 |

※ 旧件数は借入時の件数、新件数は貸付時の件数

ウ 農作業受託促進事業

農作業の受委託による規模拡大を促進するため、3年以上で農作業の受託契約を締結している農業者等に対し、農作業受託料相当額（5年分以内）を一括無利子で貸付ける事業です。平成31年度は、過年度に貸付けた受託料相当額の回収を行います。

(表－8)

| 区 分 | | 31年度計画 | | 30年度計画 | |
|--------|------|--------|---------|--------|---------|
| | | 件数 | 面積 (ha) | 件数 | 面積 (ha) |
| 前年度末現在 | | 2 | 11.4 | 3 | 16.1 |
| 本年度 | 新規貸付 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 完 済 | 0 | 0.0 | 1 | 4.7 |
| 本年度末現在 | | 2 | 11.4 | 2 | 11.4 |

2 担い手支援部門

担い手の高齢化及び減少が進むなか、円滑な担い手の確保や就農を進めるため新規就農相談センターの総合窓口として県内外での就農相談活動を実施し、就農に対する意欲や理解を高めるとともに、就農希望者への技術習得のための研修や、新規就農者の農業経営に関わる支援等を行い、担い手の確保・育成及び定着を図ります。

(1) 就農支援対策事業

ア 新規就農者確保・育成体制整備事業、新規就農者掘り起し事業

専門の就農相談員を配置し、県内・外の新規就農希望者に対する相談活動を実施するとともに、農業体験、研修の実施に対する支援や農業法人等への職業紹介活動を行い、新規参入者や法人就農者等の多様な担い手の確保・育成を図ります。

(ア) 就農相談会 (表-9)

| 区 分 | 場 所 | 31年度計画 | 30 度計画 |
|---------------------|-----|--------|--------|
| 全国新規就農相談会 | 東京都 | 3回 | 2回 |
| | 大阪府 | 2回 | 1回 |
| みやざき就農相談フェア | 東京都 | 5回 | 0回 |
| 宮崎県就職説明会、 移住セミナー | 東京都 | 2回 | 2回 |
| | 大阪府 | 2回 | 2回 |
| | 福岡県 | 1回 | 1回 |
| | 宮崎県 | 4回 | 5回 |
| みやざき就農相談会 | 宮崎市 | 1回 | 1回 |

(イ) 就農相談 (表-10)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|---------|---------|---------|
| 相 談 者 | 5 1 0 件 | 4 5 0 件 |
| 県 内 在 住 | 3 7 0 件 | 3 0 0 件 |
| 県 外 在 住 | 1 4 0 件 | 1 5 0 件 |

(ウ) 研修支援 (表-11)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 | |
|--------|-------------|--------|-------|
| 農業体験講座 | 1回 | 1回 | |
| 研修先 | 農 業 実 践 塾 | 1 4 人 | 1 4 人 |
| | 農 協 出 資 法 人 | 2 0 人 | 2 0 人 |
| | 先進農家・農業法人 | 3 人 | 2 0 人 |

(エ) 無料職業紹介 (表-12)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| ハローワーク農業セミナー | 2回 | 2回 |
| 農業法人への求職相談者 | 10人 | 15人 |
| 求人農業法人 | 20社 | 20社 |
| 求人 | 40人 | 35人 |
| 就職者 | 5人 | 5人 |

イ 農業次世代人材投資事業(準備型)

就農希望者や関係機関団体等に対し事業内容を周知し、事業の一層の有効活用を推進します。関係機関・団体と連携し事業対象者の情報の共有に努め、研修終了後確実に就農できるよう支援します。

(表-13)

| 対 象 者 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|-------|--------|--------|
| 交付対象者 | 80人 | 90人 |

ウ 地域に貢献する青年農業者組織実践力強化事業

県SAP会議連合や県農協青年組織協議会の活動経費を助成し、将来の農業を担う多様な人材の確保・育成を図ります。

(表-14)

| 助 成 対 象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|------------|---------|---------|
| 県SAP会議連合 | 2,452千円 | 2,952千円 |
| 県農協青年組織協議会 | 3,970千円 | 3,970千円 |

エ みやざき農業の魅力アップ！農業経営資源承継モデル構築事業

産地が必要とする担い手を円滑に確保するため、離農希望者の有する経営資源と就農希望者等を繋ぎ、新規就農者の円滑な就農促進を図ります。

(表-15)

| 助 成 対 象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|----------|--------|--------|
| 経営資源承継件数 | 6件 | — |

(2) 宮崎県農業担い手確保・育成基金事業

基金の適正な管理運用に努めながら、農業体験・研修から就農・定着に至るまでを体系的に支援します。

ア 新規就農者養成促進事業

県内の高校が実施する高度な農業技術等の活動経費を助成し、農業高校生の就農意欲を喚起するとともに、次世代の有用な農業後継者の確保を図ります。

(表-16)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------|--------|--------|
| 農業高等学校 | 4件 | 5件 |

イ 新規就農研修生助成事業

県内産地での就農を目指して関係する農協出資法人や先進農家等において研修しようとする新規参入者等に対して研修経費を助成し、新たな担い手の就農促進を図ります。

(表-17)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------|--------|--------|
| 新規参入者等 | 10件 | 6件 |

ウ 先進農業研修等支援事業

新たな知識・技術の習得や県産農畜産物等の需要拡大PRをしようとする青年農業者に対して先進農家や海外、消費地での研修経費を助成し、担い手の資質向上を図ります。

(表-18)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------|--------|--------|
| 青年農業者等 | 4件 | 4件 |

エ 高度農業技術習得支援事業

新たな生産・診断技術やバイオ技術等の高度な農業技術を習得しようとする青年農業者等に対して研修経費を助成し、担い手の資質の向上を図ります。

(表-19)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------|--------|--------|
| 青年農業者等 | 1件 | 1件 |

オ 農地利用促進事業

新規参入者等が、利用権を設定した農地の借地料に対して助成を行い、初期経営の安定を図ります。

(表-20)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------|--------|--------|
| 新規参入者等 | 87件 | 49件 |

カ 青年等就農支援資金保証料補てん事業

認定新規就農者に対して青年等就農資金借りに伴う債務保証料を助成し、初期経営の安定を図ります。

(表-21)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|---------|--------|--------|
| 認定新規就農者 | 40件 | 32件 |

キ 新規就農者定着支援リース事業

農畜産用施設・機械等をリースして農業経営を開始しようとする認定新規就農者に対してリース料を助成し、担い手の育成を図ります。

(表-22)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|---------|--------|--------|
| 認定新規就農者 | 35件 | 23件 |

ク 新規就農サポーター事業

相談者を短期間受け入れて、農業の基礎的な知識・技術に関する体験活動及び指導・助言を行うサポーター(先進農家等)に対して指導謝金を助成し、円滑な就農を図ります。

(表-23)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|-------|--------|--------|
| 先進農家等 | 4件 | 5件 |

ケ アグリファミリー設置事業

就農間もない新規就農者に技術や経営の指導・助言を行う農業経営指導士等に対して指導謝金を助成し、経営初期の安定を図ります。

(表-24)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|----------|--------|--------|
| 農業経営指導士等 | 15件 | 21件 |

コ 特認事業

理事長が必要と認める事業として実施し、農業後継者及び農業の担い手の確保・育成を行います。

(表-25)

| 助成対象 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|------------|--------|--------|
| 県学校農業クラブ連盟 | 1件 | 1件 |

3 畜産施設部門

本県畜産は、昨今の輸入畜産物の増加や輸入飼料・燃料・生産資材などの価格高騰、畜産従事者の高齢化による廃業や担い手不足などこれまでにない厳しい経営環境にあるため良質な自給飼料の生産拡大やコスト削減に努め、産地間競争に負けない経営改善の強化が喫緊の課題となっています。

このようなことから、関係機関や団体等と連携のもと、畜産担い手育成総合整備事業の啓発・普及を図りながら、畜産担い手の育成と、自給飼料基盤や適切な飼養管理が行える畜舎等の整備促進に努めるとともに、既存施設の長寿命化を図るため、ストックマネジメント事業を実施し、畜産経営の安定を図ります。

(1) 畜産担い手育成総合整備事業

飼料基盤に立脚した安全・安心で効率的な経営体を重点的に育成し、これらの経営体を核とした畜産主産地の再編整備や水田地帯等における畜産担い手の育成を図ります。

31年度は、引き続き南那珂・北諸県地区の、南那珂地区4団地(日南市3団地、串間市1団地)及び新規地区の西諸第二地区の3団地(えびの市2団地、高原町1団地)の飼料畑造成・整備改良等並びに家畜保護施設等の整備を計画しています。

(表-26)

(単位:千円)

| 地区 | 市町村 | 31年度計画 | | 30年度計画 | |
|------------|--------------------|---------|---|---------|--|
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 |
| 南那珂 北諸県 | 日南市 串間市 都城市 | 130,032 | 飼料畑造成・整備改良 3.9ha 家畜保護施設整備等 3棟 | 186,516 | 飼料畑造成・整備改良 9.3ha 家畜保護施設整備等 4棟 |
| 西諸第二 | えびの市 小林市 高原町 | 86,400 | 飼料畑造成・整備改良 2.35ha 放牧用林地整備 6.44ha | - | - |
| 計 | | 216,432 | | 186,516 | |

(2) 畜産環境総合整備事業(ストックマネジメント事業)

県内の主要な畜産地域にある既設の公共家畜排せつ物処理施設が老朽化していることから、これらの施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断調査を基に補修・補強及び再整備を行います。

31年度は、引き続き第2国富地区のJA宮崎中央堆肥センター団地の建屋及び機械設備等の再整備を計画しています。

(表-27)

(単位:千円)

| 地区 | 市町村 | 31年度計画 | | 30年度計画 | |
|------|-----|--------|------------|--------|------------|
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 |
| 第2国富 | 国富町 | 58,320 | 機能保全対策工事一式 | 3,240 | 機能保全対策工事一式 |

4 新農業支援部門

本県の豊富な地域資源を効率的かつ最大限に活用しながら、県内の農林漁業者等が自ら加工や販売等を行い経営の多角化を図る6次産業化や、関係団体や企業等と連携し、他産業の力を地域に呼び込む農商工連携及び農業参入等を推進することにより、一次産業の経営強化と地域活性化を支援します。

(1) 6次産業化サポートセンター事業(6次産業化地域サポート事業)、6次産業化総合相談窓口設置事業、宮崎の6次化産地育成事業

6次産業化を目指す農林漁業者への支援を行う総合窓口(みやざき6次産業化サポートセンター)として、6次産業化の取り組みにつながる案件の発掘から事業化さらに計画実現に向けたフォローアップまで、農林漁業者による6次産業化の取り組みに対して総合的なサポートを行い、6次産業化の推進と経営の安定化を図ります。

ア 6次産業化プランナーによる専門的支援

外部専門家である6次産業化プランナーを派遣し、総合化事業計画作成・総合化事業計画作成後のフォローアップの専門的支援を行っていきます。

(表-28)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| 農林漁業者及び企業数 | 50者(社) | 90者(社) |
| 支援活動実施回数(延べ) | 200回 | 360回 |

イ 6次産業化コーディネーターによる支援

公社に配置する6次産業化コーディネーターにより地域相談会や総合化事業計画作成支援・総合化事業計画作成後のフォローアップのコーディネートを行っていきます。

(表-29)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| 認定事業者等への支援 | | |
| 農林漁業者及び企業数 | 50者(社) | — |
| 支援活動実施回数(延べ) | 250回 | — |
| 地域相談会 | | |
| 農林漁業者及び企業数 | 30者(社) | 60者(社) |
| 支援活動実施回数(延べ) | 30回 | 60回 |

ウ 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定

農林漁業者の経営改善を図るため、六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定に向けた計画策定を支援します。

(表-30)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|-----------|--------|--------|
| 総合化事業計画認定 | 10件 | 10件 |

(2) 6次産業化サポートセンター事業(6次産業化戦略策定・人材育成研修事業)

経営感覚を持って6次産業化等経営の多角化に取り組む人材を育成するため、人材育成研修会を開催します。

ア みやざき6次産業化チャレンジ塾

6次産業化に取り組む農林漁業者及び支援を行う指導者等を育成するため、「みやざき6次産業化チャレンジ塾」を開催します。経営、マーケティング、食品加工等に必要な基礎知識を取得するスタートアップコースと、スタートアップコース修了生、六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定者を対象としたステップアップコースを開催します。

(表-31)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| スタートアップコース | | |
| 実施講座 | 18講座 | 18講座 |
| 修了生のうち農林漁業者 | 15名 | — |
| ステップアップコース | | |
| 実施講座 | 3コース | 3コース |
| 受講者 | 30名 | 30名 |

イ 6次産業化ミニチャレンジ塾

6次産業化に取り組む人材の新規掘り起しと6次産業化の推進を図るため、県内各地において、ミニチャレンジ塾を開催します。

(表-32)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|------------|--------|--------|
| ミニチャレンジ塾開催 | 2回 | 2回 |
| 〃 受講者 | 50名 | 50名 |

ウ 農商工連携推進支援

農林漁業者と他産業事業者との連携を図るため、マッチング機会の創出や交流会等を開催し、農商工連携を含めた6次産業化の取り組みを支援します。

(表-33)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| マッチング・交流会の開催 | 3回 | 4回 |

エ 普及・啓発活動

農林漁業者等及び関係機関における意識醸成及び制度の周知を図ることで、6次産業化を推進します。

(表－34)

| 区 分 | 31年度計画 | 30年度計画 |
|-------|--------|--------|
| 研 修 会 | 2 回 | 2 回 |

第4 正味財産増減予算

平成31年度

正味財産増減予算書

正味財産増減予算書内訳書

正味財産増減予算書

平成 31年4月1日から平成 32年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 特定資産運用益 | [2,590,714] | [2,590,433] | [281] |
| 特定資産受取利息 | (128,934) | (128,653) | (281) |
| 受取出資金引当資産受取利息 | 120,000 | 120,000 | 0 |
| 退職給付引当資産受取利息 | 6,905 | 6,624 | 281 |
| 貸倒引当資産受取利息 | 2,029 | 2,029 | 0 |
| 特定資産運用益振替額 | (2,461,780) | (2,461,780) | (0) |
| 担い手確保育成事業運用益振替額 | 2,461,780 | 2,461,780 | 0 |
| 事業収益 | [606,821,180] | [628,129,432] | [▲ 21,308,252] |
| 用地売却等収益 | (239,192,640) | (348,962,030) | (▲ 109,769,390) |
| 用地売却収益 | 185,155,000 | 254,881,000 | ▲ 69,726,000 |
| 用地売却収益(埋却地) | 40,212,640 | 79,127,030 | ▲ 38,914,390 |
| 用地割賦売却収益 | 12,000,000 | 12,000,000 | 0 |
| 用地売却諸経費収益 | 1,825,000 | 2,954,000 | ▲ 1,129,000 |
| 用地貸付等収益 | (360,871,540) | (271,761,402) | (89,110,138) |
| 用地貸付収益 | 359,936,550 | 268,623,930 | 91,312,620 |
| 用地前払貸付収益 | 925,735 | 3,106,411 | ▲ 2,180,676 |
| 用地貸付諸経費収益 | 9,255 | 31,061 | ▲ 21,806 |
| 用地一時貸付収益 | (5,197,000) | (5,846,000) | (▲ 649,000) |
| 用地一時貸付収益 | 5,197,000 | 5,846,000 | ▲ 649,000 |
| 用地手数料収益 | (1,560,000) | (1,560,000) | (0) |
| 用地買入手手数料収益 | 1,560,000 | 1,560,000 | 0 |
| 受取補助金 | [837,355,000] | [876,338,000] | [▲ 38,983,000] |
| 受取県補助金 | (837,355,000) | (876,338,000) | (▲ 38,983,000) |
| 受取補助金 | 837,355,000 | 876,338,000 | ▲ 38,983,000 |
| 受取負担金 | [6,622,000] | [6,922,000] | [▲ 300,000] |
| 受取県負担金 | 2,500,000 | 3,000,000 | ▲ 500,000 |
| 受取団体負担金 | 3,922,000 | 3,922,000 | 0 |
| 受取その他負担金 | 200,000 | 0 | 200,000 |
| 受取受託料 | [127,057,000] | [123,271,000] | [3,786,000] |
| 受取県受託料 | 39,040,000 | 11,500,000 | 27,540,000 |
| 受取事業参加者受託料 | 88,017,000 | 111,771,000 | ▲ 23,754,000 |
| 雑収益 | [501,470] | [400,100] | [101,370] |
| 有価証券運用益 | 501,370 | 400,000 | 101,370 |
| 受取利息 | 100 | 100 | 0 |
| 引当金戻入額 | [7,812,297] | [7,172,826] | [639,471] |
| 賞与引当金戻入額 | 7,812,297 | 7,172,826 | 639,471 |
| 経常収益計 | 1,588,759,661 | 1,644,823,791 | ▲ 56,064,130 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | [1,635,103,251] | [1,695,192,749] | [▲ 60,089,498] |
| 用地売却等原価 | (264,176,065) | (379,919,615) | (▲ 115,743,550) |
| 用地売却原価 | 0 | 168,085,000 | ▲ 168,085,000 |
| 用地売却原価(埋却地) | 40,212,640 | 79,127,030 | ▲ 38,914,390 |
| 用地売却原価(特例事業) | 185,155,000 | 86,796,000 | 98,359,000 |
| 用地割賦売却原価(特例事業) | 12,000,000 | 12,000,000 | 0 |
| 用地売却損(埋却地) | 26,808,425 | 33,911,585 | ▲ 7,103,160 |
| 用地貸付等原価 | (360,862,285) | (271,730,341) | (89,131,944) |
| 用地貸付原価 | 359,936,550 | 268,623,930 | 91,312,620 |
| 用地前払貸付原価 | 925,735 | 3,106,411 | ▲ 2,180,676 |
| 外注費 | (434,600,000) | (461,300,000) | (▲ 26,700,000) |
| 外注工事費 | 428,268,400 | 447,900,000 | ▲ 19,631,600 |
| 設計等委託費 | 6,331,600 | 13,400,000 | ▲ 7,068,400 |
| 支払助成金 | 135,640,000 | 166,572,000 | ▲ 30,932,000 |
| 業務費 | (439,824,901) | (404,366,932) | (35,457,969) |
| 役員報酬 | 9,040,700 | 9,047,400 | ▲ 6,700 |
| 給与手当 | 79,732,700 | 78,663,512 | 1,069,188 |
| 賞与引当金繰入額 | 7,594,077 | 7,077,347 | 516,730 |
| 臨時雇賃金 | 80,470,000 | 56,697,040 | 23,772,960 |
| 退職給付費用 | 4,832,172 | 1,492,313 | 3,339,859 |
| 福利厚生費 | 1,341,810 | 805,220 | 536,590 |
| 法定福利費 | 35,612,902 | 29,155,300 | 6,457,602 |
| 会議費 | 745,900 | 542,000 | 203,900 |
| 広告宣伝費 | 5,172,000 | 3,015,000 | 2,157,000 |
| 地代家賃 | 2,378,190 | 2,303,000 | 75,190 |
| 旅費交通費 | 14,893,000 | 10,182,348 | 4,710,652 |
| 通信運搬費 | 6,648,520 | 4,472,868 | 2,175,652 |
| 消耗備品費 | 120,000 | 596,746 | ▲ 476,746 |
| 消耗品費 | 1,615,803 | 2,142,151 | ▲ 526,348 |

正味財産増減予算書

平成 31年4月1日から平成 32年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 減価償却費 | 2,558,117 | 1,680,402 | 877,715 |
| 修繕費 | 100,000 | 118,698 | ▲ 18,698 |
| 印刷製本費 | 1,894,240 | 1,552,286 | 341,954 |
| 車輛管理費 | 3,803,430 | 3,794,099 | 9,331 |
| 車輛燃料費 | 1,221,000 | 1,192,521 | 28,479 |
| 図書費 | 497,000 | 708,952 | ▲ 211,952 |
| 光熱水料費 | 1,376,000 | 1,133,683 | 242,317 |
| 支払手数料 | 3,881,500 | 1,922,692 | 1,958,808 |
| 賃借料 | 5,507,100 | 5,091,449 | 415,651 |
| 保険料 | 5,000 | 10,000 | ▲ 5,000 |
| 諸謝金 | 12,904,000 | 10,494,000 | 2,410,000 |
| 租税公課 | 4,930,000 | 3,456,043 | 1,473,957 |
| 支払負担金 | 2,669,740 | 2,671,540 | ▲ 1,800 |
| 委託費 | 147,932,000 | 164,078,322 | ▲ 16,146,322 |
| 研修費 | 215,000 | 210,000 | 5,000 |
| 雑費 | 133,000 | 60,000 | 73,000 |
| 返還金 | (0) | (11,303,861) | ▲ 11,303,861 |
| 補助金返還金 | 0 | 11,303,861 | ▲ 11,303,861 |
| 管理費 | [7,659,822] | [7,328,227] | [331,595] |
| 人件費 | (4,212,989) | (4,275,147) | ▲ 62,158 |
| 役員報酬 | 1,933,300 | 1,995,600 | ▲ 62,300 |
| 給与手当 | 1,234,800 | 1,271,700 | ▲ 36,900 |
| 賞与引当金繰入額 | 218,220 | 234,647 | ▲ 16,427 |
| 福利厚生費 | 45,690 | 46,300 | ▲ 610 |
| 法定福利費 | 780,979 | 726,900 | 54,079 |
| その他管理費 | (3,446,833) | (3,053,080) | (393,753) |
| 会議費 | 61,000 | 45,000 | 16,000 |
| 地代家賃 | 650,000 | 701,000 | ▲ 51,000 |
| 旅費交通費 | 310,000 | 310,000 | 0 |
| 通信運搬費 | 290,000 | 240,000 | 50,000 |
| 消耗品費 | 200,000 | 240,000 | ▲ 40,000 |
| 減価償却費 | 664,833 | 302,940 | 361,893 |
| 修繕費 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 印刷製本費 | 30,000 | 20,000 | 10,000 |
| 光熱水料費 | 250,000 | 240,000 | 10,000 |
| 支払手数料 | 10,000 | 20,000 | ▲ 10,000 |
| 賃借料 | 200,000 | 268,000 | ▲ 68,000 |
| 租税公課 | 21,000 | 15,000 | 6,000 |
| 委託費 | 500,000 | 562,040 | ▲ 62,040 |
| 研修費 | 150,000 | 87,100 | 62,900 |
| 雑費 | 10,000 | 2,000 | 8,000 |
| 経常費用計 | 1,642,763,073 | 1,702,520,976 | ▲ 59,757,903 |
| 当期経常増減額 | ▲ 54,003,412 | ▲ 57,697,185 | 3,693,773 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 受取補助金 | [26,808,425] | [45,215,445] | [▲ 18,407,020] |
| 受取補助金振替額 | 26,808,425 | 45,215,445 | ▲ 18,407,020 |
| 経常外収益計 | 26,808,425 | 45,215,445 | ▲ 18,407,020 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 26,808,425 | 45,215,445 | ▲ 18,407,020 |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲ 27,194,987 | ▲ 12,481,740 | ▲ 14,713,247 |
| 一般正味財産期首残高 | 160,611,050 | 173,625,812 | ▲ 13,014,762 |
| 一般正味財産期末残高 | 133,416,063 | 161,144,072 | ▲ 27,728,009 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 特定資産運用益 | [2,461,780] | [2,461,780] | [0] |
| 特定資産受取利息 | (2,461,780) | (2,461,780) | (0) |
| 担い手確保育成基金引当資産受取利息 | 2,461,780 | 2,461,780 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | [▲ 29,270,205] | [▲ 47,677,225] | [18,407,020] |
| 一般正味財産への振替額 | ▲ 29,270,205 | ▲ 47,677,225 | 18,407,020 |
| 当期指定正味財産増減額 | ▲ 26,808,425 | ▲ 45,215,445 | 18,407,020 |
| 指定正味財産期首残高 | 979,379,388 | 965,322,233 | 14,057,155 |
| 指定正味財産期末残高 | 952,570,963 | 920,106,788 | 32,464,175 |
| III 正味財産期末残高 | 1,085,987,026 | 1,081,250,860 | 4,736,166 |

正味財産増減予算書内訳表

平成 31年4月1日から 平成 32年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | 法人会計 | 合 計 |
|-----------------|---------------------------------------|---------------|-------------------|-----|
| | 農業の担い手の確保・育成、農業生産性の向上等に係る宮崎県の農業の振興を図る | | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 特定資産運用益 | [1,725,275] | [865,439] | [2,590,714] | |
| 特定資産受取利息 | (2,029) | (126,905) | (128,934) | |
| 受取出資金引当資産受取利息 | 0 | 120,000 | 120,000 | |
| 退職給付引当資産受取利息 | 0 | 6,905 | 6,905 | |
| 貸倒引当資産受取利息 | 2,029 | 0 | 2,029 | |
| 特定資産運用益振替額 | (1,723,246) | (738,534) | (2,461,780) | |
| 担い手確保育成事業運用益振替額 | 1,723,246 | 738,534 | 2,461,780 | |
| 事業収益 | [603,388,380] | [3,432,800] | [606,821,180] | |
| 用地売却等収益 | (238,462,640) | (730,000) | (239,192,640) | |
| 用地売却収益 | 185,155,000 | 0 | 185,155,000 | |
| 用地売却収益(埋却地) | 40,212,640 | 0 | 40,212,640 | |
| 用地割賦売却収益 | 12,000,000 | 0 | 12,000,000 | |
| 用地売却諸経費収益 | 1,095,000 | 730,000 | 1,825,000 | |
| 用地貸付等収益 | (360,871,540) | (0) | (360,871,540) | |
| 用地貸付収益 | 359,936,550 | 0 | 359,936,550 | |
| 用地前払貸付収益 | 925,735 | 0 | 925,735 | |
| 用地貸付諸経費収益 | 9,255 | 0 | 9,255 | |
| 用地一時貸付収益 | (3,118,200) | (2,078,800) | (5,197,000) | |
| 用地一時貸付収益 | 3,118,200 | 2,078,800 | 5,197,000 | |
| 用地手数料収益 | (936,000) | (624,000) | (1,560,000) | |
| 用地買入手数料収益 | 936,000 | 624,000 | 1,560,000 | |
| 受取補助金 | [833,218,880] | [4,136,120] | [837,355,000] | |
| 受取県補助金 | (833,218,880) | (4,136,120) | (837,355,000) | |
| 受取補助金 | 833,218,880 | 4,136,120 | 837,355,000 | |
| 受取負担金 | [6,622,000] | [0] | [6,622,000] | |
| 受取県負担金 | 2,500,000 | 0 | 2,500,000 | |
| 受取団体負担金 | 3,922,000 | 0 | 3,922,000 | |
| 受取その他負担金 | 200,000 | 0 | 200,000 | |
| 受取受託料 | [126,367,630] | [689,370] | [127,057,000] | |
| 受取県受託料 | 39,040,000 | 0 | 39,040,000 | |
| 受取事業参加者受託料 | 87,327,630 | 689,370 | 88,017,000 | |
| 雑収益 | [501,470] | [0] | [501,470] | |
| 有価証券運用益 | 501,370 | 0 | 501,370 | |
| 受取利息 | 100 | 0 | 100 | |
| 引当金戻入額 | [7,594,077] | [218,220] | [7,812,297] | |
| 賞与引当金戻入額 | 7,594,077 | 218,220 | 7,812,297 | |
| 経常収益計 | 1,579,417,712 | 9,341,949 | 1,588,759,661 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | [1,635,103,251] | [0] | [1,635,103,251] | |
| 用地売却等原価 | (264,176,065) | (0) | (264,176,065) | |
| 用地売却原価(埋却地) | 40,212,640 | 0 | 40,212,640 | |
| 用地売却原価(特例事業) | 185,155,000 | 0 | 185,155,000 | |
| 用地割賦売却原価(特例事業) | 12,000,000 | 0 | 12,000,000 | |
| 用地売却損(埋却地) | 26,808,425 | 0 | 26,808,425 | |
| 用地貸付等原価 | (360,862,285) | (0) | (360,862,285) | |
| 用地貸付原価 | 359,936,550 | 0 | 359,936,550 | |
| 用地前払貸付原価 | 925,735 | 0 | 925,735 | |
| 外注費 | (434,600,000) | (0) | (434,600,000) | |
| 外注工事費 | 428,268,400 | 0 | 428,268,400 | |
| 設計等委託費 | 6,331,600 | 0 | 6,331,600 | |
| 支払助成金 | 135,640,000 | 0 | 135,640,000 | |
| 業務費 | (439,824,901) | (0) | (439,824,901) | |
| 役員報酬 | 9,040,700 | 0 | 9,040,700 | |
| 給与手当 | 79,732,700 | 0 | 79,732,700 | |
| 賞与引当金繰入額 | 7,594,077 | 0 | 7,594,077 | |
| 臨時雇賃金 | 80,470,000 | 0 | 80,470,000 | |
| 退職給付費用 | 4,832,172 | 0 | 4,832,172 | |
| 福利厚生費 | 1,341,810 | 0 | 1,341,810 | |
| 法定福利費 | 35,612,902 | 0 | 35,612,902 | |
| 会議費 | 745,900 | 0 | 745,900 | |
| 広告宣伝費 | 5,172,000 | 0 | 5,172,000 | |
| 地代家賃 | 2,378,190 | 0 | 2,378,190 | |
| 旅費交通費 | 14,893,000 | 0 | 14,893,000 | |
| 通信運搬費 | 6,648,520 | 0 | 6,648,520 | |
| 消耗備品費 | 120,000 | 0 | 120,000 | |
| 消耗品費 | 1,615,803 | 0 | 1,615,803 | |

正味財産増減予算書内訳表

平成 31年4月1日から 平成 32年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | 法人会計 | 合 計 |
|-------------------|---------------------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | 農業の担い手の確保・育成、農業生産性の向上等に係る宮崎県の農業の振興を図る | | | |
| 減価償却費 | 2,558,117 | | 0 | 2,558,117 |
| 修繕費 | 100,000 | | 0 | 100,000 |
| 印刷製本費 | 1,894,240 | | 0 | 1,894,240 |
| 車輛管理費 | 3,803,430 | | 0 | 3,803,430 |
| 車輛燃料費 | 1,221,000 | | 0 | 1,221,000 |
| 図書費 | 497,000 | | 0 | 497,000 |
| 光熱水料費 | 1,376,000 | | 0 | 1,376,000 |
| 支払手数料 | 3,881,500 | | 0 | 3,881,500 |
| 賃借料 | 5,507,100 | | 0 | 5,507,100 |
| 保険料 | 5,000 | | 0 | 5,000 |
| 諸謝金 | 12,904,000 | | 0 | 12,904,000 |
| 租税公課 | 4,930,000 | | 0 | 4,930,000 |
| 支払負担金 | 2,669,740 | | 0 | 2,669,740 |
| 委託費 | 147,932,000 | | 0 | 147,932,000 |
| 研修費 | 215,000 | | 0 | 215,000 |
| 雑費 | 133,000 | | 0 | 133,000 |
| 管理費 | [0] | [7,659,822] | [7,659,822] | |
| 人件費 | (0) | (4,212,989) | (4,212,989) | |
| 役員報酬 | 0 | 1,933,300 | 1,933,300 | |
| 給与手当 | 0 | 1,234,800 | 1,234,800 | |
| 賞与引当金繰入額 | 0 | 218,220 | 218,220 | |
| 福利厚生費 | 0 | 45,690 | 45,690 | |
| 法定福利費 | 0 | 780,979 | 780,979 | |
| その他管理費 | (0) | (3,446,833) | (3,446,833) | |
| 会議費 | 0 | 61,000 | 61,000 | |
| 地代家賃 | 0 | 650,000 | 650,000 | |
| 旅費交通費 | 0 | 310,000 | 310,000 | |
| 通信運搬費 | 0 | 290,000 | 290,000 | |
| 消耗品費 | 0 | 200,000 | 200,000 | |
| 減価償却費 | 0 | 664,833 | 664,833 | |
| 修繕費 | 0 | 100,000 | 100,000 | |
| 印刷製本費 | 0 | 30,000 | 30,000 | |
| 光熱水料費 | 0 | 250,000 | 250,000 | |
| 支払手数料 | 0 | 10,000 | 10,000 | |
| 賃借料 | 0 | 200,000 | 200,000 | |
| 租税公課 | 0 | 21,000 | 21,000 | |
| 委託費 | 0 | 500,000 | 500,000 | |
| 研修費 | 0 | 150,000 | 150,000 | |
| 雑費 | 0 | 10,000 | 10,000 | |
| 経常費用計 | 1,635,103,251 | 7,659,822 | 1,642,763,073 | |
| 当期経常増減額 | ▲ 55,685,539 | 1,682,127 | ▲ 54,003,412 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 受取補助金 | [26,808,425] | [0] | [26,808,425] | |
| 受取補助金振替額 | 26,808,425 | 0 | 26,808,425 | |
| 経常外収益計 | 26,808,425 | 0 | 26,808,425 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 26,808,425 | 0 | 26,808,425 | |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲ 28,877,114 | 1,682,127 | ▲ 27,194,987 | |
| 一般正味財産期首残高 | 72,104,419 | 88,506,631 | 160,611,050 | |
| 一般正味財産期末残高 | 43,227,305 | 90,188,758 | 133,416,063 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 特定資産運用益 | [1,723,246] | [738,534] | [2,461,780] | |
| 特定資産受取利息 | (1,723,246) | (738,534) | (2,461,780) | |
| 担い手確保育成基金引当資産受取利息 | 1,723,246 | 738,534 | 2,461,780 | |
| 一般正味財産への振替額 | [▲ 28,531,671] | [▲ 738,534] | [▲ 29,270,205] | |
| 一般正味財産への振替額 | ▲ 28,531,671 | ▲ 738,534 | ▲ 29,270,205 | |
| 当期指定正味財産増減額 | ▲ 26,808,425 | 0 | ▲ 26,808,425 | |
| 指定正味財産期首残高 | 654,069,616 | 325,309,772 | 979,379,388 | |
| 指定正味財産期末残高 | 627,261,191 | 325,309,772 | 952,570,963 | |
| III 正味財産期末残高 | 670,488,496 | 415,498,530 | 1,085,987,026 | |